

平成28年 3月修了  
修士(工学)学位論文

我が国の建設現場における  
長時間労働問題の改善策に関する研究

A study on improvement scheme for long-hours project site working condition in  
Japanese construction industry

高知工科大学大学院 工学研究科 基盤工学専攻

学籍番号 1185107

木村 竜太

Ryuta Kimura

## 要旨

第1章の「建設業を取り巻く労働環境について」では、建設業と他産業の労働時間について、総労働時間、残業時間および週休2日制の現状など建設業界の労働時間（建設労働者と建設技術者）に関して、整理を行い、今後の建設市場の動向を踏まえてこれからの繁忙度について考える。

第2章では、建設業界は、なぜ他産業と比較して労働時間が多いままなのか、つまり、生産性の向上が図ることができないのか、建設業のもつ特性を整理しながら、その特性が労働時間にどのように影響するのか要因を抽出した。

第3章は、長時間労働が顕著となっている外勤技術系（建築・土木）、つまり、建設業の最前線である国内の公共工事の現場に焦点をあて、日建連が実施したアンケートをもとに「休日取得」や「工期延長の実態」について「なぜ休日取得ができないのか」、「なぜ工期が延長されるような状況になるのか」挙げられている理由を考察することで原因を追究する。

第4章においては、第2章で挙げた建設業の特性に起因する労働時間への影響要因に対して、「公共工事標準契約約款」が、工期延長の可否、工期延長および工期短縮に伴う工事費にまつわる問題を包括しているのか条文と照らし合わせながら確認を行った。

第5章では、国内工事において、実際に工期遅延につながった、またはつながりそうであった具体的例を挙げている。第6章ではそれまでの工程遅延、長時間労働リスクに対する回避策・改善策についての提案をし、第7章において上記のまとめについて記載する。